

# 令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

## 小学校 第4学年 「算数（東京書籍）」

1 2 3時間（70%）

週	指導事項	単元名	小単元名	時間数	留意点
1	A (1) ア (7) イ (7)	1. 大きい数のしくみ	1-①～④大きい数のしくみ	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>「5. 小数のしくみ」と関連付ける準備をする。</li> <li>既習の筆算や十進位取り記数法の仕組みと関連させて扱う。</li> <li>十進位取り記数法の仕組みの復習を兼ねて扱う。</li> <li>1～3の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。</li> </ul>
			2-①②10倍、1/10にした数	2	
			3-①②かけ算	2	
			たしかめよう、単元のまとめ等		
<b>8時間</b>					
3	D (1) ア (7) (イ) イ (7)	2. 折れ線グラフと表	1-①②折れ線グラフ	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>(P. 20) と合わせて扱う。</li> <li>既習のグラフの特徴や読み取りを基に考え、説明する活動を入れる。</li> <li>前時の学習内容の復習を兼ねて扱う。</li> <li>1～2の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。</li> </ul>
			1-③～⑤折れ線グラフのかき方	3	
			2-①②整理のしかた	2	
			いかしてみよう	1	
			たしかめよう、単元のまとめ等		
<b>8時間</b>					
4	A (3) ア (7) (イ) イ (7)	3. わり算の筆算(1)	1-①何十、何百のわり算	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>2位数÷1位数の除法を余りのある場合とない場合に分けて比較しながら学習する。</li> <li>問題練習は家庭学習も利用する。</li> <li>1～4の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。</li> </ul>
			2-①～③2位数を1位数でわる除法と筆算形式	3	
			2-④⑤3位数を1位数でわる除法と筆算形式	2	
			3-①わり算の筆算(2)	1	
			4-①暗算	1	
			たしかめよう、単元のまとめ等		
<b>9時間</b>					
5	B (5) ア (7) (イ) イ (7)	4. 角の大きさ	①～④角の大きさの意味	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>角の大きさのはかり方とかき方を区別して扱う。</li> <li>①～⑤の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。</li> </ul>
			⑤分度器を使った角のかき方、三角形のかき方	2	
			たしかめよう、単元のまとめ等		
<b>6時間</b>					
8	A (4) ア (4) (イ) イ (7) A (6) ア (イ) A (8) ア (ア) イ (ア)	5. 小数のしくみ	1-①②小数の表し方	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>位取りの表を用いて小数の大きさを比べる。</li> <li>「1. 大きい数のしくみ」と関連付けて扱う。</li> <li>1～3の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。</li> <li>図を活用し、2量の差に着目して考える。</li> </ul>
			2-①～④小数のしくみ	4	
			3-①～⑤小数のたし算とひき算	5	
			たしかめよう、単元のまとめ等		
			ちがいに注目して	1	
			そろばんによる簡単な小数の加減計算	1	
<b>13時間</b>					
9	A (3) ア (7) (イ) イ (イ) イ (イ) A (6) ア (イ) C (2) ア (ア) イ (ア)	6. わり算の筆算(2)	1-①何十でわる計算	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>教具を工夫して「分ける」ことを視覚的に捉え、計算のしかたを考えやすくする。</li> <li>線分図を基に学習を進めることで、解き方の見通しをもてるようにする。</li> <li>1～4の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。</li> </ul>
			2-①②2位数÷2位数の除法	2	
			2-③～⑥かりの商	4	
			3-①～③被除数が3位数の除法	2	
			4-①～③わり算のせいしつ	2	
			倍の見方	3	
			たしかめよう、単元のまとめ等		
<b>14時間</b>					
11	A (2) ア (7) (イ) イ (7)	7. がい数の使い方と表し方	1-①がい数の意味	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>(P. 120) を合わせて扱う。</li> <li>概数を用いて計算する方法に着目し、和、差、積、商を同時に扱う。</li> <li>1～2の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。</li> </ul>
			1-②～⑤四捨五入の意味と方法	4	
			2-①②がい数を使った計算	2	
<b>7時間</b>					
13	A (6) ア (7) (イ) イ (7) A (7) ア (7) イ (7)	8. 計算のきまり	1-①～③計算のじゅんじょ	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>(P. 2) と合わせて扱う。</li> <li>1～2の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。</li> </ul>
			今日の深い学び	2	
			2-①～③計算のきまりとくふう	3	
			たしかめよう、単元のまとめ等		
<b>7時間</b>					
13	B (1) ア (7) (イ) イ (7)	9. 垂直、平行と四角形	1-①②直線の交わり方	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>2枚の三角定規を使って垂直な直線のひき方を考え、平行線については、次時と関連させる。</li> </ul>

14			2-①～⑤直線のならび方	4	・2直線の関係を平行、垂直という視点で見ることを意識付けすることで「14.直方体と立方体」の学習に備える。
			3-①～④いろいろな四角形	3	・辺の長さや角の大きさは事前に測り、授業で特徴を見付ける。
15		10時間	4-①対角線と四角形の特ちょう	1	・(P.161)を切り取り、図形を敷き詰める活動を扱う。
			たしかめよう、単元のまとめ等		・1～4の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
16	A (5) ア (7) (4) イ (7)	10. 分数	1-①～③分数の表し方	4	・図や数直線から読み取った数を帯分数や仮分数に表しながら、大小比較をする。 ・1～3の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
			2-①分母がちがう分数の大きさ	1	
			3-①～③分数のたし算とひき算 たしかめよう、単元のまとめ等	3	
17	A (6) C (1)	11. 変わり方調べ	①～③どのように変わるか調べよう	3	・①～③の追究の過程で、補充や個別に対応しながら問題を精選して扱ったり、家庭学習として扱ったりする。
			たしかめよう、単元のまとめ等		
18	A (6) ア (4) イ (7) B (4) ア (7) (4) イ (7)	12. 面積のはかり方と表し方	1-①広さの表し方	1	・(P.157)の図をは事前に切り取り、授業中に活動する時間を確保する。 ・(P.69)の面積の求め方は事前に考え、授業中は互いの解法を考察する活動を扱う。 ・⑤⑥はm、cmを長さの単位とした面積として関連付けて扱う。 ・1～4の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
			2-①②長方形と正方形の面積	3	
			3-①～⑤大きな面積の単位	4	
			4-①長方形のたての長さとの面積の関係 たしかめよう、単元のまとめ等	1	
19 20	A (4) ア (7) (2) イ (7) A (3) A (4) ア (2)	13. 小数のかけ算とわり算	1-①～④小数のかけ算	4	・1～3の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
			2-①～④小数のわり算	4	
			2-⑤～⑧余りがある場合のわり算	3	
			3-①②小数の倍	2	
			たしかめよう、単元のまとめ等		
21	B (2) ア (7) (4) イ (7) B (3) ア (7) イ (7)	14. 直方体と立方体	1-①～③直方体と立方体	3	・模型等を示しながら、立体の特徴を扱う。
			2-①～④面や辺の垂直・平行	3	・面と線、垂直と平行という図形を考察する視点を意識できるようにする。
			3-①②位置の表し方 まとめ	2	・1～3の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。

### ※時間数の精選方法（例）

○家庭学習を活用する。

・授業中は学習の動機付けや考えを交流させて学びを深める活動に重点をおき、問題練習、模型の作成等は家庭学習も利用します。家庭学習部分につまずきが見られた児童に対しては、解法やポイントをまとめたプリントを配付したり、個別に対応したりするなどの工夫をします。

○指導内容に基づき、授業中に扱う考えや活動を精選する。

・ねらいの達成につながる意見や解法、活動を中心に扱います。

○活動の機会をつくる。

・第4学年では、分度器や三角定規を扱ったり、表やグラフ、数直線に表したりする活動をする中で、気づきを促したり、理解を深めたりすることが大切です。扱う内容に軽重をつけることにより、ねらいを明確にした活動の機会を重視するとともに、日常生活の中でも繰り返し活用できるように促します。

○似た考え方や活動に気付かせ、活動の見通しをもてるようにする。

・例えば、小数のしくみを考える視点が、大きい数のしくみを基に考えられることに気付かせ、児童主体で学習を進められるようにします。